

「病気になる身体づくり」に
役立つプロテインです。

アイムプロテインは、



元ブルデンシャル生命保険㈱最高経営責任者

三森 裕氏
Yutaka Sanmori

1952年千葉県生まれ。獨協大学卒業後、株式会社ヤナセの営業職を経てブルデンシャル生命保険株式会社に入社。2005年に同社の執行役員社長兼最高経営責任者（CEO）に就任。同社歴代社長の中で唯一の営業部門出身者。2018年に同社特別顧問を勇退し、現在は日経BP課長塾の講師等を務める。

Experience

vol. 19

2021
May

免疫プロテイン Q&A

第7回

免疫プロテインに関する
素朴な疑問や質問に
お答えします。

アイムプロテインで腸
内環境を整えることが
こうした現象の予防に
つながります。



42th

これまででも、
これからも、
まっすぐ正しく。

健康食品開発のエキスパートとして、
いのちの科学をやさしく人に
届け続けていきます。



緊張する場面でお腹を下したり、旅先で便秘になるのは何故ですか？

脳と腸が密接な関係にあることが原因とされています。



「大事な仕事など緊張する場面でお腹を下してしまう」「旅行や出張などで慣れない土地に行く便秘になる」といった悩みを抱えている方は世の中に多くいらっしゃるでしょう。こうした現象が起きるのは、会報誌12号に掲載の特別コラム第9回で紹介した「脳腸相関」が原因とされています。下記の図のように、脳のストレスはダイレクトに腸へと伝わります。また、その逆もかりで、腸の不調も脳へと伝わります。脳と腸、それぞれのストレスや不調が互いに影響を与える悪循環に陥ってしまうケースが多々あるのです。

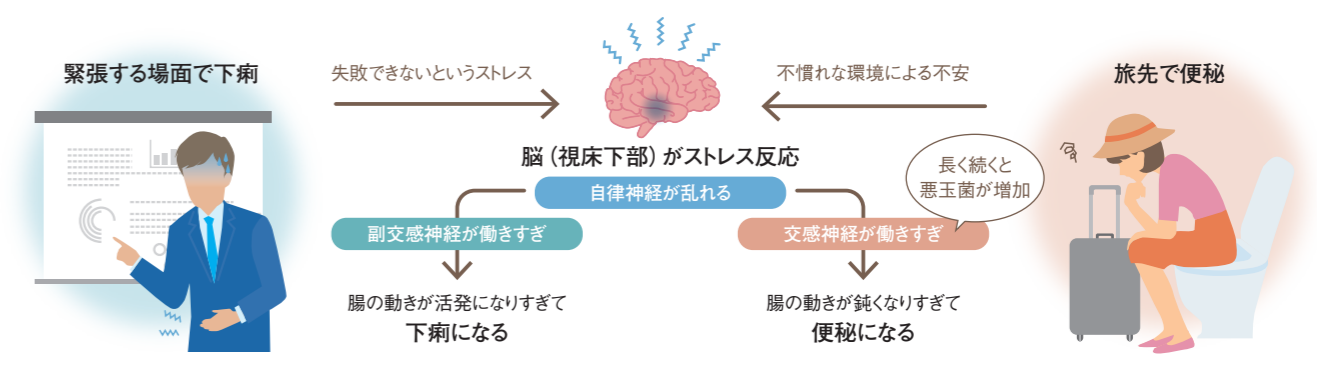
こんなとき、腸では何が起きている？

緊張する場面でお腹を下す理由

仕事でプレゼンテーションやスピーチをする時など、緊張する場面でお腹を下してしまうのは、「失敗したらどうしよう…」といった強い不安（興奮）を抑えようと副交感神経が強く働くことにより、腸の動きが活発になってしまうことが原因であるとされています。

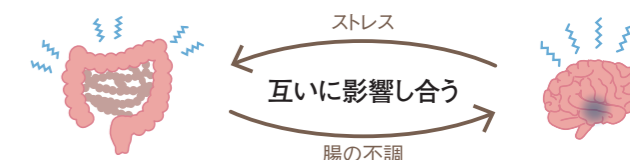
旅先や出張先で便秘になる理由

旅行先や出張先で便秘になってしまうのは、不慣れた環境に対して脳がストレスを感じることや、楽しみによる期待感が却って交感神経の働きを高め過ぎてしまい、腸の動きが低下することが原因であるとされています。この状態が続くと悪玉菌が増殖し、様々な不調を招く恐れがあるため、できるだけリラックスすることを心がけ、交感神経の働きを抑える必要があります。



脳と腸の相関関係で悪循環に!?

脳と腸それぞれが感じたストレスや不調は、互いに影響し合う。リラックスして脳のストレスを解消するか、食事を変えることによって腸の不調を止めるか、いずれかを改善しないと悪循環に陥ってしまう可能性も。



最新オルトニュース

アイムプロテインのHPを全面的にリニューアル。

この度、オルトはアイムプロテインのホームページを全面的にリニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、アイムプロテインについてより理解を深めて頂けるようコンテンツを拡充すると共に、より親しみやすいホームページを目指しました。今後もさらなる内容の充実や改善に努め、アイムプロテインが皆様のお役に立てるよう、分かりやすいホームページを目指していきます。

ホームページの内容はこちらをご確認頂けます。
<https://improtein.jp/>



PRODUCT INTRODUCTION

「ネイリストサプリ」は、爪が薄くなってしまいう悩みを抱えていたジェルネイル愛好家の声から生まれた商品です。年齢と共に体内から減少する「ボリアミン」という細胞分裂に関係する成分と、爪の主成分であるケラチン合成に必要なビタミンの仲間である「ピオチン」を主成分に、割れる・薄い・欠けやすいといった爪に関する問題を改善することを目的としています。



爪専用サプリメント
ネイリストサプリ



オルトは過去5年間で延べ100回以上にわたり、「爪と食育や栄養の関係」に関するネイリスト向けのセミナーを開催してきました。こうした経験を活かしながら、これからもネイリストの食育に貢献する活動を行っています。

商品の詳細はこちらをご覧ください。
<https://www.orthobios.com/product/nailistsupple/>



いのちの科学をやさしく人に

私たちオルトは健康食品開発のエキスパートとして、会報誌「Experience」を通じて健康に役立つ情報をお届けします。

発行元：オルト株式会社 住所：東京都渋谷区渋谷1-19-5 渋谷美竹ビル 3F URL：<https://www.ortho-corp.jp> お問い合わせ 電話：0120-444-110 メール：info@orthobios.com 発行日：2021年5月31日

これからの人生をより一層謳歌するために アイムプロテインを飲み続けたい



19
im Protein
Member's Voice
三森 裕氏
Yutaka Sanmori

アイムプロテインの愛飲者に健康の秘訣を伺うこのコーナー。今回のゲストは、大手保険会社であるブルデンシャル生命保険で10年以上にわたり経営のトップを務めた三森裕氏。ビジネスの世界で長年活躍してきた三森氏に、アイムプロテインの魅力等を語って頂きました。

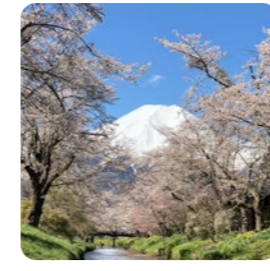
— 今回は大手保険会社で経営のトップを務めるなど長年にわたってビジネスの世界で活躍されてきた三森さんがゲストになりますので、アイムプロテインのことについて伺う前に、ビジネスに関するお話も少し伺いたいと思います。三森さんはビジネスに取り組み上でどのようなことを大切にされてきたのでしょうか？

複数あるのですが、中でも特に大切にしていたのは「直感」です。私が考える直感というのは、課題に対して時間を掛けて慎重に結論を出すのではなく、「即断即決」をするということ。私は迫られる課題や案件に対して、3秒以内に結論を出すことを心掛けてきました。というのも、生命保険業界というのは、人口減少や少子高齢化といった社会的背景の変動による顧客ニーズの変化、さらには販売手法の多様化や情報化社会におけるテクノロジーの進化など、取り巻く環境が日々目まぐるしく変わっていくため、予測困難な変

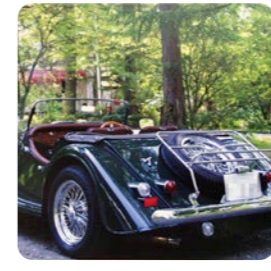
化への対応力や課題解決力が瞬時に求められる世界。直感で判断していかなければ成り立たない局面がたくさんあるのです。私は変化や課題に対して、ありとあらゆる情報を頭の中で整理して、直感という方法で最良の選択結果を積み重ねてきました。そして、「リスクを取らないことがリスク」という攻めの姿勢を貫き通すことで、最高経営責任者という大きなポジションにまで飛躍することができたと思っております。

— ビジネスに大切な「直感」を養うために、三森さんはどのようなことに取り組まれてきたのでしょうか？

少し理屈っぽくなってしまっているのですが、「直感」を養うためには、心身共に研ぎ澄まされた状態で発揮される「動物的本能を育てることが必要」と思います。人間というのは、年齢を重ねると共に、動物視力や脳の働きも含めて身体的機能がどんどん退化していく生き物です。



★2 富士山の写真
ドライブ仲間と毎週のように富士山麓を訪れるうちに、日の出の富士山の被写体としての美しさに感動。以降、10年以上にわたって富士山の写真を撮り続けている。



★1 PLUS FOUR
愛車は10年以上乗っている英国・モーガン社の1994年式のPLUS FOUR（プラスフォー）。素敵な老夫妻がこの車に乗っていたのを見かけたことが購入のきっかけ。

— 長年トレーニングをされてきたことですが以前からプロテインを飲まれる習慣はあったのでしょうか？

プロテインを昔から飲んでるイメージを持たれることが非常に多いのですが、実はアイムプロテインに出会うまではプロテイン自体を飲んだことがなかったんです。特別深い意味やこだわりがあってプロテインを避けていた訳ではないのですが、加工食品ではなく、できる限りお肉やお魚など自然な食品からタンパク質を摂取することを心掛けていたためです。

— 今まではプロテインを飲んでいなかった三森さんがアイムプロテインを愛飲するようになった理由や興味を持ったきっかけを教えてください。

アイムプロテインが、他のメーカーが出しているような強度の高い運動やトレーニングをする方に向けたプロテインではなく、腸内環境を整える健康増進のための機能的なプロテインであることが愛飲するようになった理由ですね。アイムプロテインに興味を持ったきっかけは、何年か前に「大腸憩室出血」という大腸の病気を患ったことです。大腸憩室出血は、特別な痛みはないにも関わらず鮮血便が起きる病気で、高齢化に伴って腸管の血管壁に悪影響を及ぼす高血圧などの症状が増加することが原因だとされています。その病気をきっかけに、腸内環境に良いとされる商品に興味を持つようになり、アイムプロテインの存在を知りました。アイムプロテインのことを詳しく知るにつれ、今までのプロテインとは役割が全く違うプロテインであることや、腸内環境の改善を通じて高血圧やコレステロールの改善などQOL（クオリ



ティ・オブライフII生活の質の向上につながることに魅力を感じるようになり、期待と共に飲み始めたのです。

— アイムプロテインのどのような点が健康に役立っていますか？ また、どのような点が気に入っていますか？

アイムプロテインを飲み始めて約14か月経ちますが、お通じがとても良くなりましたね。便は「日々の健康を表す鏡」と言われるように、健康を見極める上でのパロメーター。アイムプロテインを飲むようになってから、お通じの色や量が以前とは異なることに大きな驚きと喜びを感じています。高血圧やコレステロールの数値も改善されており、以前患った大腸憩室出血が再発することもなくなりました。特に気になることもなく、健康な状態を保っていると思います。

— 気に入っている点は、全部ですね。効果やコンセプトだけでなく、仕様面も含めて、アイムプロテインという商品の全部を非常に気に入っています。例えば、1食ごとの個包装になっている点、シエイカーの使い勝手が良い点といった仕様面への細やかな配慮からも、「健康増進のために無理なく毎日飲める商品であること」に徹底的にこだわっていることが伝わってきますし、メーカーの思いが感じられる商品だと思いますね。

— 最後に会報誌の読者へメッセージをお願いします。

で、これからの人生をより一層謳歌していきたいと思っています。私と同じように、これからの人生を楽しみたいと思っている方は多くいらっしゃると思いますが、同時に将来の健康に対する不安を抱えていらっしゃる方も多いでしょう。加齢と共に身体の衰えは必ずやってくるもの。私たちに今求められているのは、病気に罹ってから治す「社会保障による治療」ではなく、健康増進のための「病気になる前、身体づくり」に一人ひとりが取り組むことだと考えます。そのためにも、アイムプロテインが一人でも多くの方の手に渡り、健康増進に役立てて頂けることを願っています。

効果やコンセプトから仕様まで
アイムプロテインという商品の
全部を気に入っています



し、身体的機能の衰えと共に、知らず知らずのうちに動物的本能も衰えてしまっています。身体的機能や動物的本能が衰えた状態では、ビジネスで決断が迫られる場面において最良の決断を下すことができません。ビジネスに悪影響を与えないためにも、動物的本能を育み、心身共に研ぎ澄まされた状態を維持することが重要となります。そのため手段として、私は若い頃から「運動」や「トレーニング」の時間を設けることを大切にしてきました。元々運動が好きだったこともあり、ここ10年くらいロードバイクに乗っていますし、トレーニングは今でも続けています。初めてトレーニングジムに通ったのは、ヤナセの営業としてドイツ車を売っていた29歳の頃だったと思います。当時は、早朝6時半〜8時頃までトレーニングをして、その後に出社するという生活を送っていましたね。飛び込み営業で1日あたり60人のお客様と名刺交換をしなければいけないというようなハードな毎日でしたが、それでもトレーニングをすることで身体をメンテナンスする時間を取ることを大切にしていました。